
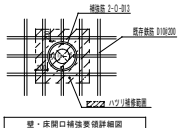





給湯設備	○配管材料 断接管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。 既設 ○断管 ○耐熱性塩ビライニング鋼管 ○ステンレス鋼管 (SUS304) ○改設 ○断管 ○耐熱性塩ビライニング鋼管 ○ステンレス鋼管 (SUS304) ○弁 類 ○減圧器の排気筒 ○保 温 ○スリッパ管の接合方法	●72㎡以上含有製品処理 ○ 本工事 ダクトフランジバックシ及び配管エルボ部保温材の処理方法は、以下による。 撤去する長方形ダクトのフランジ部、配管のエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するためフランジ・エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に処理を行う。 ※ 配管、ダクト以外の解体方法は、関連する官公署、石綿作業主事者などに確認し法令に従い適切に処理を行うこと。 アスベスト含有部材を撤去・取り外しを実施する場合の施工要領 (参考)																																							
消火設備	○配管材料 イ) 一般 既設 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) 改設 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) ロ) 地中埋設部 既設 ○外面被覆鋼管 (SGP-VS) ○外面被覆鋼管 (STPG-370VS) 改設 ○外面被覆鋼管 (SGP-VS) ○外面被覆鋼管 (STPG-370VS) ○屋内消火栓種別 既設 ○吊操作性1号消火栓 ○2号消火栓 改設 ○吊操作性1号消火栓 ○2号消火栓 ○広範囲型2号消火栓 ○10K イ) 充水タンクの保温 既設 ○有 ○無 改設 ○要 ○不要 なお、充水タンクの保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5鋼板製タンクの項による。 ロ) 消火配管の保温 既設 ○有 ○無 改設 ○要 ○不要 なお、消火配管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 給水管の項による。 ハ) 屋外露出管については給水管に準ずる。	 1. ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。 2. フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。 3. ダクト片側の切断終了後、フランジ部内側に外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。 4. 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。																																							
ガス設備	○配管材料 イ) 一般 既設 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ガス事業者の規定による ( ) 改設 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ガス事業者の規定による ( ) ロ) 地中埋設部 既設 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ガス事業者の規定による ( ) 改設 ○ガス用ポリエチレン管 ○ガス事業者の規定による ( ) ○観測メーター ○チメーター ○ガスポンペ ○バルクタンク ○ガス漏れ警報器 ○埋設深さ	石綿含有設備資材撤去リスト <table border="1"><thead><tr><th>種 類</th><th>寸 法</th><th>箇 所</th><th>備 考 (ダクト振振)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="8">ダクトフランジ部</td><td>200×150</td><td>4</td><td>(0.5)</td></tr><tr><td>250×100</td><td>4</td><td>(0.5)</td></tr><tr><td>300×150</td><td>4</td><td>(0.5)</td></tr><tr><td>400×150</td><td>2</td><td>(0.5)</td></tr><tr><td>500×150</td><td>10</td><td>(0.6)</td></tr><tr><td>700×300</td><td>9</td><td>(0.6)</td></tr><tr><td>300×150</td><td>21</td><td>(0.5)</td></tr><tr><td>650×250</td><td>6</td><td>(0.6)</td></tr><tr><td rowspan="3">配管フランジ部</td><td>80A</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>100A</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>150A</td><td>2</td><td></td></tr></tbody></table> ※ ダクトフランジ部の撤去に先立ち、フランジ部1箇所につき2箇所切断する。	種 類	寸 法	箇 所	備 考 (ダクト振振)	ダクトフランジ部	200×150	4	(0.5)	250×100	4	(0.5)	300×150	4	(0.5)	400×150	2	(0.5)	500×150	10	(0.6)	700×300	9	(0.6)	300×150	21	(0.5)	650×250	6	(0.6)	配管フランジ部	80A	2		100A	2		150A	2	
種 類	寸 法	箇 所	備 考 (ダクト振振)																																						
ダクトフランジ部	200×150	4	(0.5)																																						
	250×100	4	(0.5)																																						
	300×150	4	(0.5)																																						
	400×150	2	(0.5)																																						
	500×150	10	(0.6)																																						
	700×300	9	(0.6)																																						
	300×150	21	(0.5)																																						
	650×250	6	(0.6)																																						
配管フランジ部	80A	2																																							
	100A	2																																							
	150A	2																																							
雨水利用設備	○システム構成その他 ○配管材料 ○量水器 ○ポンプ ○熱調理器の熱源 ○厨房機器類	○防音機能復旧工事 防音機能復旧事業における工事については、『防音施設周辺防音事業 工事標準仕様書(令和元年7月)』に則って施工を行うこと。 本事業の工事種別は、 ○ 1 総工事 ● 2 総工事 ○ 3 総工事 ○ 4 総工事 である。 ○ 給排気ダクトには、必要に応じて消音ボックスを設置すること。 消音ボックスの仕様及び数量は別図による。 ○ 給気口 ○排気口には、RWまたはGWの吸音材を内貼りしたものを設置すること。 ○ 外壁部の内壁から金熱交換機またはシロッコファンまでは(2m以上) ○金で遮音シート施工とする。																																							
浄化槽設備	○処理能力 ○流入負荷 ○処理方式 ○主要構造 ○総電容量 ○ばっ気槽用送風機 ○流入側 ○放流側 ○排気及び排気かき ○ポンプ ○制御盤 ○マンホール ○装置耐荷重 ○土工事 ○消毒剤 ○水質表示等の提出 ○フロート ○消泡装置	●72㎡以上含有外壁仕上塗材 ○ 本工事 壁及び床の開口時に鉄筋と干渉する場合の補強方法は、以下による。 																																							
その他	●暴力団又は暴力団関係者による不当介入に対する通報・報告の義務 受注者は、受注者又は下請負人に対して暴力団又は暴力団関係者による不当介入があった場合には、苦情及び受注者へ通報・報告しなければならない。また、苦情の調査に必要な協力を行うものとする。	●72㎡以上含有外壁仕上塗材 ○ 本工事 壁及び床の開口時に鉄筋と干渉する場合の補強方法は、以下による。 																																							

※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する

M-03



